

子どもが退学処分を受けた場合に知っておくべきこと 保護者向け情報

退学処分とは

退学処分とは、学校長および教育指導主事 (Director, Educational Leadership) が、処分の対象となる児童・生徒に対して、その児童・生徒は学校を途中で去らなければならない、戻ることもしないという旨を通知することです。退学処分はたいへん重大な措置です。このため学校は、退学処分が下される前に、できる限りお子さんの支援に努めることになっています。

学校長は、次の二つの理由により児童・生徒を退学させることができます。

- 児童・生徒に重大な問題行動が見られ、それらの行動を管理する計画に効果が見られなかった。
- 生徒が17歳以上で、学習に参加していない。

学校長は退学処分を下す前に、お子さんのニーズや背景を考慮した上で、学校がどのようにお子さんの学習を支援してきたかについて考えます。

退学処分となる前に、学校長はお子さんの退学処分を検討中である旨、保護者に連絡します。退学処分の可能性についての通知を書面で発行し、保護者とお子さんが面談に出席するように連絡し、退学処分の理由と退学になった場合にどのようなことが起こるかを説明します。面談には、[サポートを提供できる支援者](#)も同伴していただけます。サポート提供者は、保護者の方やお子さんに具体的または精神面でのサポートを提供できます。

保護者の方は、書面による通知を受け取ったあと7日（授業日）以内に、お子さんが退学処分を受けるべきではない理由を学校側に回答することができます。学校長は意思決定プロセスの一環として、その回答を参考にします。

子どもが退学処分を受けるとどうなりますか

児童・生徒を退学に処すか否か、学校長および教育指導主事が決定します。学校長は、退学処分決定後24時間以内に当該の児童・生徒および保護者の方に伝達し、NSW州教育省に通知する必要があります。

お子さんが17歳未満で、行動が原因で退学処分となった場合は、学校長は15日（授業日）以内に新たな転入先の学校あるいは学習を継続できる新たな環境を探す必要があります。

お子さんが17歳以上の場合、保護者の方とお子さんは学習を継続するための選択肢または就業への移行を検討する必要があります。

学校から得られる情報

保護者の方は、処分の背景や事実関係、およびその理由について学校に詳細な情報の提供を求めることができます。何か問題があると考えられる場合、学校は決定の根拠や今後起こりうる措置、またはとるべき行動について説明する必要があります。

退学処分に対して不服申立てを行えますか

はい。学校長および教育指導主事が不当な決定を下した、または正しい手続きを行っていないと思われる場合は不服申立てを行うことができます。このような場合は、[不服申立てに関する資料](#)をご参照ください。

[子どもの擁護](#)に関する情報および学校とコミュニケーションを図る方法を説明した[学校コミュニティ憲章](#)もご参照いただけます。

苦情申立ての方法は

退学処分やその他の決定または提供されたサポートについてご懸念をお持ちの方および苦情申立てをご検討の方は、[苦情申立て](#)に関する情報をご覧ください。

電話通訳サービス

学校にご連絡の際に通訳を希望される方は、電話通訳サービス (TEL: 131 450) をご利用ください。オペレーターが出たら、日本語の通訳をご指定のうえ、学校の電話番号をお伝えください。通訳が電話を介して会話をお手伝いします。このサービスは無料でご利用いただけます。